



下関労働基準監督署からのお知らせ

厚生労働省

令和7年3月

業種別労働災害発生状況

○令和7年2月末現在

令和7年の業種別災害発生状況(休業4日以上)

下関労働基準監督署
令和7年2月末現在

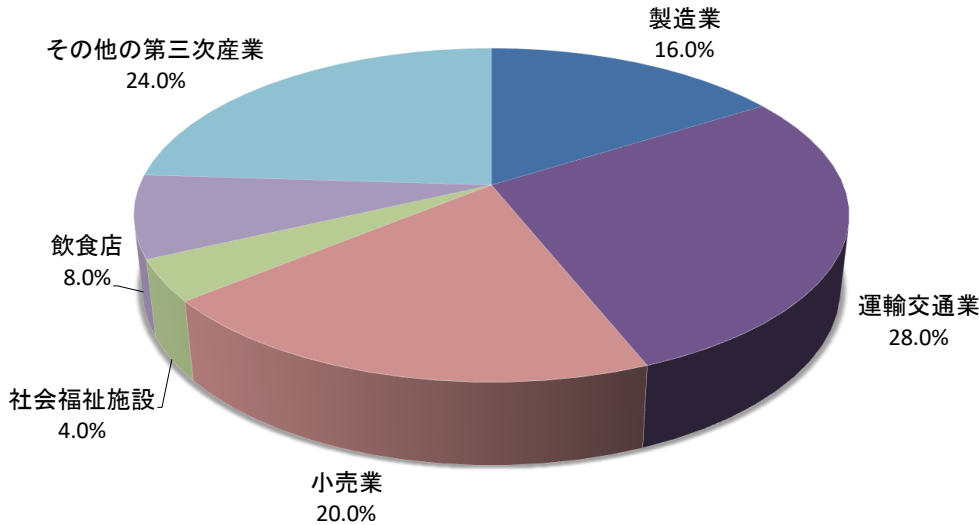
新型コロナウイルス感染症り
患による労働災害を除く。

業種	死亡 (前年同期値)	休業災害	合計	構成比※	対前年 増減数	増減率	うち転倒災害件数				
							死亡	休業災害	合計	構成比※	占有率
全産業	0	25	25	100.0%	+3	+13.6%		9	9	100.0%	36.0%
製造業		4	4	16.0%	-2	-33.3%		1	1	11.1%	25.0%
鉱業					±0	—					—
建設業					-4	-100.0%					—
運輸交通業		7	7	28.0%	+5	+250.0%		1	1	11.1%	14.3%
貨物取扱業					±0	—					—
農林業					±0	—					—
畜産・水産業					±0	—					—
第三次産業		14	14	56.0%	+4	+40.0%		7	7	77.8%	50.0%
小売業		5	5	20.0%	+3	+150.0%		2	2	22.2%	40.0%
社会福祉施設		1	1	4.0%	-1	-50.0%		2	2	22.2%	200.0%
飲食店		2	2	8.0%	+2	+∞					—
その他の第三次産業		6	6	24.0%	±0	±0.0%		3	3	33.3%	50.0%

※端数処理上、合計値が100%にならないことがある。

労働者死傷病報告による

令和7年の業種別災害発生状況(休業4日以上)



下関労働基準監督署管内において、令和7年2月末までに発生した労働災害は25人で、前年同期と比較して、3人増加しました。

製造業は、4人と前年同期と比較して2人減少しました。事故の型は「転倒」、「激突」、「切れ・こすれ」及び「動作の反動・無理な動作」が1人ずつで、「はさまれ・巻き込まれ」は前年同期と比較して3人減少しました。

運輸交通業は、7人と前年同期と比較して5人増加しました。最も多い事故の型は「墜落・転落」及び「はさまれ・巻き込まれ」が2人ずつ発生し、前年同期と比較して2人ずつ増加しました。

小売業は5人と前年同期と比較して3人増加しました。最も多い事故の型は、「転倒」の2人で、前年同期と比較して1人増加しました。

全業種で最も多い事故の型は「転倒」の9人で、前年同期と比較して2人増加しました。

○令和6年12月末現在

令和6年の業種別災害発生状況(休業4日以上)

下関労働基準監督署
令和6年12月末現在

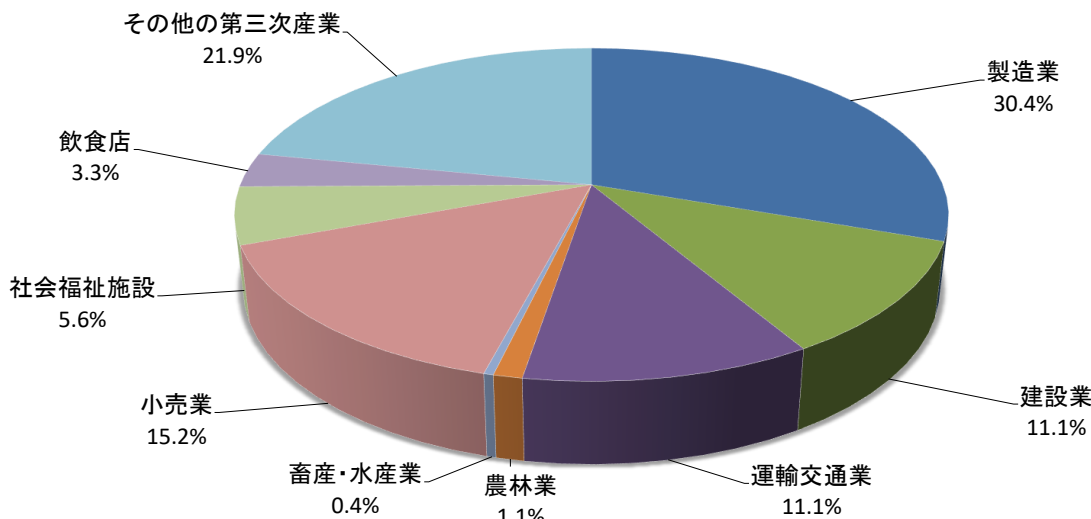
新型コロナウイルス感染症り
患による労働災害を除く。

業種	死亡 (前年同期値)	休業災害	合計	構成比※	対前年 増減	増減率	うち転倒災害件数			
							死亡	休業災害	合計	構成比※
全産業	3 (1)	267	270	100.0%	+13	+5.1%	74	74	100.0%	27.4%
製造業	2	80	82	30.4%	+3	+3.8%	20	20	27.0%	24.4%
鉱業					±0	—				—
建設業	1	29	30	11.1%	+13	+76.5%	3	3	4.1%	10.0%
運輸交通業		30	30	11.1%	-1	-3.2%	5	5	6.8%	16.7%
貨物取扱業					-2	-100.0%				—
農林業		3	3	1.1%	-4	-57.1%				
畜産・水産業		1	1	0.4%	+1	+∞				
第三次産業	(1)	124	124	45.9%	+3	+2.5%	46	46	62.2%	37.1%
小売業		41	41	15.2%	+13	+46.4%	15	15	20.3%	36.6%
社会福祉施設	(1)	15	15	5.6%	-13	-46.4%	6	6	8.1%	40.0%
飲食店		9	9	3.3%	-2	-18.2%	3	3	4.1%	33.3%
その他の第三次産業		59	59	21.9%	+5	+9.3%	22	22	29.7%	37.3%

※端数処理上、合計値が100%にならないことがある。

労働者死傷病報告による

令和6年の業種別災害発生状況(休業4日以上)



下関労働基準監督署管内において、令和6年12月末までに発生した労働災害は270人で、前年同期と比較して、13人増加し、死亡災害は3人と前年同期と比較して2人増加しました。

製造業は、82人と前年同期と比較して3人増加しました。最も多い事故の型は「転倒」の20人で、前年同期と比較して6人増加しました。続いて多い事故の型は「はさまれ・巻き込まれ」の16人で、前年同期と比較して5人減少しました。

建設業は、30人と前年同期と比較して13人増加しました。最も多い事故の型は「はさまれ・巻き込まれ」の9人で、前年同期と比較して8人増加しました。続いて多い事故の型は「墜落・転落」の8人で、前年同期と比較して3人増加しました。

小売業は41人と前年同期と比較して13人増加しました。最も多い事故の型は、「転倒」の15人で、前年同期と比較して6人増加しました。続いて多い事故の型は「交通事故」の7人で、前年同期と比較して2人増加しました。

全業種で最も多い事故の型は「転倒」の74人で、前年同期と比較して19人増加しました。